

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】令和 2 年 10 月 1 日 (2020.10.1)

【公開番号】特開 2019-102004 (P2019-102004A)
 【公開日】令和 1 年 6 月 24 日 (2019.6.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-024
 【出願番号】特願 2017-235656 (P2017-235656)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 30/20 (2020.01)

G 0 6 F 30/10 (2020.01)

【F I】

G 0 6 F 17/50 6 1 2 G

G 0 6 F 17/50 6 1 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 17 日 (2020.8.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

物品の構造解析のシミュレーションを行う条件を前記物品に対応する第 1 の設計データと関連付けて設定し、

前記物品の設計変更に対応して前記第 1 の設計データが更新された場合、前記第 1 の設計データと更新後の第 2 の設計データのそれぞれにおける座標情報に基づいて、前記第 1 の設計データと前記第 2 の設計データのそれぞれに含まれる領域の対応関係を特定し、

特定した前記対応関係に基づいて前記第 2 の設計データに前記条件を関連付けて設定して、設計変更された前記物品の構造解析のシミュレーションを実行する、

処理をコンピュータに実行させることを特徴とする構造解析シミュレーションプログラム。

【請求項 2】

前記条件が、前記第 1 の設計データに含まれる第 1 の領域に設定されたとき、

前記第 2 の設計データから、前記第 1 の領域を表す第 1 の座標情報と一致する第 2 の座標情報で表される第 2 の領域を特定することで、前記対応関係を特定する、

処理を前記コンピュータに実行させることを特徴とする請求項 1 に記載の構造解析シミュレーションプログラム。

【請求項 3】

前記条件が、前記第 1 の設計データに含まれる第 1 の領域に設定されたとき、

前記第 2 の設計データから前記第 1 の領域を表す第 1 の座標情報に基づいて、前記第 2 の設計データから、前記第 1 の領域と類似する第 3 の領域を特定し、

特定した前記第 3 の領域を表示装置に表示させ、

前記第 3 の領域に前記条件を設定することを指示する指示信号を受けた場合に、前記第 3 の領域に前記条件を設定する、

処理を前記コンピュータに実行させることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の構造解析シミュレーションプログラム。

【請求項 4】

前記第 1 の座標情報と前記第 3 の領域を表す第 3 の座標情報とに基づいて、前記第 1 の

領域と前記第 3 の領域との一致の度合いを示す値を算出し、

前記第 3 の領域を前記表示装置に表示させる際、前記値を前記表示装置に表示させる、
処理を前記コンピュータに実行させることを特徴とする請求項 3 に記載の構造解析シミュレーションプログラム。

【請求項 5】

前記第 2 の設計データに、前記第 1 の領域に含まれる第 1 の要素を表す第 4 の座標情報と一致する第 5 の座標情報で表される第 2 の要素を含む第 4 の領域と、前記第 1 の領域に含まれる第 3 の要素を表す第 6 の座標情報と一致する第 7 の座標情報で表される第 4 の要素を含む第 5 の領域とがあり、前記第 4 の領域の第 5 の要素を表す第 8 の座標情報と一致する第 9 の座標情報で表される第 6 の要素を前記第 5 の領域が含む場合、

前記第 4 の領域と前記第 5 の領域とを含むグループの長さまたは大きさと、前記第 1 の領域の長さまたは大きさとの比較結果に基づいて、前記グループを前記第 3 の領域として特定するか否かを決定する、

処理を前記コンピュータに実行させることを特徴とする請求項 3 または 4 に記載の構造解析シミュレーションプログラム。

【請求項 6】

前記条件が、前記第 1 の設計データに含まれる第 6 の領域と第 7 の領域に設定されたとき、

前記第 2 の設計データに、前記第 6 の領域に含まれる第 7 の要素を表す第 10 の座標情報と一致する第 11 の座標情報で表される第 8 の要素と、前記第 7 の領域に含まれる第 9 の要素を表す第 12 の座標情報で表される第 10 の要素とを含む第 8 の領域があり、前記第 6 の領域の第 11 の要素を表す第 13 の座標情報と一致する第 14 の座標情報で表される第 12 の要素を前記第 7 の領域が含む場合、

前記第 6 の領域と前記第 7 の領域とを含むグループの長さまたは大きさと、前記第 8 の領域の長さまたは大きさとの比較結果に基づいて、前記第 8 の領域を前記第 3 の領域として特定するか否かを決定する、

処理を前記コンピュータに実行させることを特徴とする請求項 3 または 4 に記載の構造解析シミュレーションプログラム。

【請求項 7】

前記第 2 の設計データから、前記第 2 の領域のほかに、前記第 1 の座標情報と一致する第 15 の座標情報で表される第 9 の領域が特定された場合、

前記第 2 の領域と前記第 9 の領域のうち、前記第 1 の領域が含まれる第 10 の領域を表す第 16 の座標情報と一致する第 17 の座標情報で表される第 11 の領域に含まれる方を、前記第 1 の領域に対応する領域として決定する、

処理を前記コンピュータに実行させることを特徴とする請求項 2 乃至 6 の何れか一項に記載の構造解析シミュレーションプログラム。

【請求項 8】

コンピュータが実行する構造解析シミュレーション方法であって、

物品の構造解析のシミュレーションを行う条件を前記物品に対応する第 1 の設計データと関連付けて設定し、

前記物品の設計変更に対応して前記第 1 の設計データが更新された場合、前記第 1 の設計データと更新後の第 2 の設計データのそれぞれにおける座標情報に基づいて、前記第 1 の設計データと前記第 2 の設計データのそれぞれに含まれる領域の対応関係を特定し、

特定した前記対応関係に基づいて前記第 2 の設計データに前記条件を関連付けて設定して、設計変更された前記物品の構造解析のシミュレーションを実行する、

ことを特徴とする構造解析シミュレーション方法。

【請求項 9】

物品に対応する第 1 の設計データを記憶する記憶部と、

前記物品の構造解析のシミュレーションを行う条件を前記第 1 の設計データと関連付けて設定し、

前記物品の設計変更に対応して前記第 1 の設計データが更新された場合、前記第 1 の設計データと更新後の第 2 の設計データのそれぞれにおける座標情報に基づいて、前記第 1 の設計データと前記第 2 の設計データのそれぞれに含まれる領域の対応関係を特定し、特定した前記対応関係に基づいて前記第 2 の設計データに前記条件を関連付けて設定して、設計変更された前記物品の構造解析のシミュレーションを実行する処理部と、を有することを特徴とする情報処理装置。